

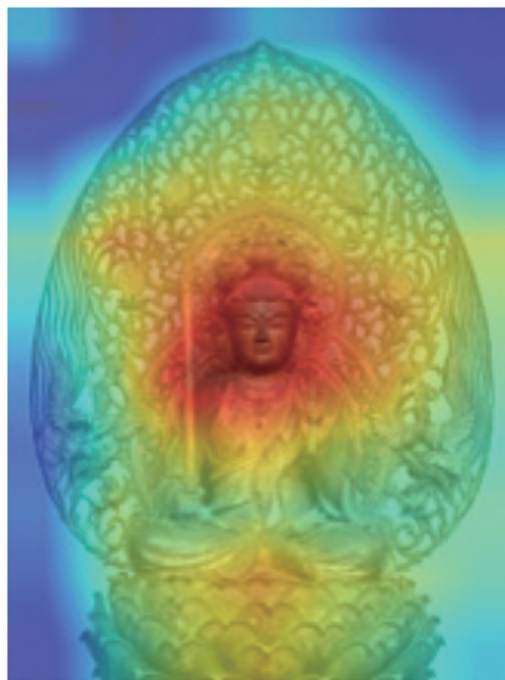
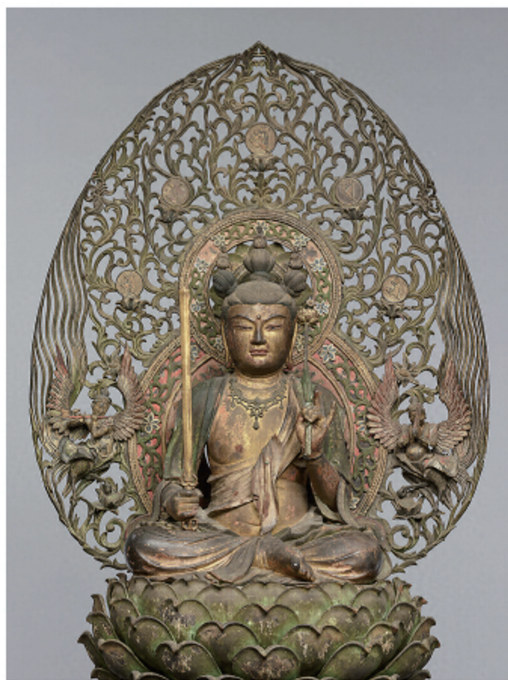
美の解剖学:AI技術による画像分析による魅力要因の可視化

■ 情報工学部 システムマネジメント学科 教授 藤岡 寛之

- 研究分野：情報工学
- キーワード：AI、深層学習、美、魅力要因、可視化

Ⅰ 研究概要

本研究は、AI技術を用いた画像分析によって、美の魅力要因を定量的に可視化することを目的としている。画像を入力とする畳み込みニューラルネットワーク(Convolutional Neural Network: CNN)と呼ばれるAI技術と魅力度に関するアンケート調査結果を基本に、美的評価における魅力要因を可視化する(下図参照)。本研究は、美的評価における新たな手法を提供することで、様々な分野に応用が可能である。例えば、広告やマーケティング分野で商品やサービスの魅力や、建築やデザイン分野におけるモノの美的評価を客観的に可視化・分析することができる可能性がある。以上のように、本研究の技術は、AI技術を活用した美的評価の新たな可能性を提示するものとなっている。



その他、民間企業においてAI技術を使ったDX推進に関わる技術アドバイスなどの経験を有している。

Ⅰ 利点特徴

AI技術を利用することで、商品や建築物など様々なモノの魅力要因を客観的に評価することが可能になる。

Ⅰ 応用分野

商品開発(例:競合他社の商品と比較して、より魅力的なデザインやパッケージを開発)、ブランディング強化(例:ブランドロゴの評価を行い、ブランディング戦略の改善に活用)、など。

